

平成29年  
新春企画

## 平成29年への想い

平成28年は熊本地震、台風、異常気象など、度重なる災害に見舞われ、印象に残る年になりました。平成29年を迎えるにあたり、更なる飛躍に向けた市民の皆さんの想いを聞きました。

## 大学生になっても全国制覇

A1)

自分は大分出身なのですが、寮で点呼する時間でした。気付くとみんな机の下に隠れていましたね。自然の力って怖いですよね。地震の後はしばらく練習もろくにできず、グラウンドにテントを張って練習したりしていました。高校総体も迫っていたので、すごく焦りましたね。

九州学院高校3年 剣道部  
梶谷 彪雅さん

A2)

大学生になっても、今までのように剣道を頑張っていきたいです。剣道をしていておかげで礼儀作法などを身につけることができたし、自分は成長できたと思います。高校生で全国大会も優勝できたので、大学生になっても全国制覇できるように頑張りたいです。最近は大日本選手権でも、大学生が活躍していたりします。高校生の今よりも活躍の場を増やしていくことが自分の夢なので、より一層剣道に打ち込んでいきたいですね。

※九州学院高校剣道部…平成28年第25回全国高等学校剣道選抜大会優勝(4連覇)、平成28年第89回玉竜旗高校剣道大会優勝(3連覇)など数々の実績を残している

## 歌で復興の後押しを

A1)

地震のときは家族と家にいました。地震後学校は休みになったので、その時間は避難所に、ボランティアにいたりしました。自分と同じ合唱部の子たちは15人くらい集まって、避難所に歌いに行っていましたよ。喜んでもらったようで嬉しかったです。地震に遭って、歌えることって当たり前のことじゃないんだなと強く感じましたね。

帯山中学校3年 合唱部部長  
寺本 文香さん

A2)

熊本は、まだ復興しきれていない部分があると思います。平成29年は何かそういう人たちの力になっていきたいですね。自分たちには歌うということが出来るし、少しでも落ち込んでいる人を元気付けたいんです。合唱部の後輩たちには、自分たちのことも大事だけれど、ほかの人にパワーを与えてほしいですね。

※帯山中学校合唱部…第83回NHK全国学校音楽コンクール優良賞受賞、第69回全日本合唱コンクール全国大会金賞など受賞

## 困ったところに手が届く人に

A1)

地震直後は、お客様のために何が出来るのかを一番に考えて行動していました。お客様の家を1軒1軒訪問し、日用品を配ったりしていましたね。苦しい状況下でも、互いに元気な顔を見るだけで頑張ろうというパワーに繋がりました。

銀行員  
山下 智佳さん

A2)

仕事面では、お客様の困ったところに手が届く身近な存在になりたいです。わたしは個人のお客様へ資産運用の相談業務を行っています。お客様によって悩みはさまざまなので、1人ひとりのお客様に合った最適の金融サービスをお届けし、お客様との関係構築をしていきたいです。

## 災害ボランティアを続けたい

A1)

当初は益城町の災害ボランティアに参加していましたが、その後熊本市にも人が足りないと知り、熊本市の災害ボランティアに行きはじめました。最初の頃は避難所の片付け、運営支援、崩れたブロック塀などのガレキの処理が多かったです。今はそういう大掛かりなものは減ってきて、ほとんど室内清掃ですね。

災害ボランティア経験者  
吉本 満さん

A2)

災害ボランティアセンターは11月いっぱいではなくなりましたが、僕個人としては、ニーズがあり続けるかぎり支援したい気持ちはあります。センター自体がなくなっても、何か別のかたちで続けていきたいですね。センターという形でなくとも、熊本県内・市内に住む方が数人集まれば活動できるんじゃないかなと思います。

## まずは自宅の解体を

A1)

宇城地方は前震と本震の間(4月15日午前0時3分)に6強の地震があったんです。その影響で私の自宅もかなり揺れて、大打撃を受けました。天井がはがれて、泥が落ち、主人と話していた口の中に泥が入ってきました。そして、逃げたんです。うちは全壊でした。

A2)

全壊の自宅から、荷物をまだ全部出せていないような状態です。片付けを済ませて、平成29年中に解体まで済ませたいなと思います。新しく家を建てる前の段階なんです。仮設住宅の自治会の役員としては、いろいろな方とコミュニケーションをとって、楽しく過ごしていきたいですね。

塚原仮設住宅 会計  
川上 真由美さん